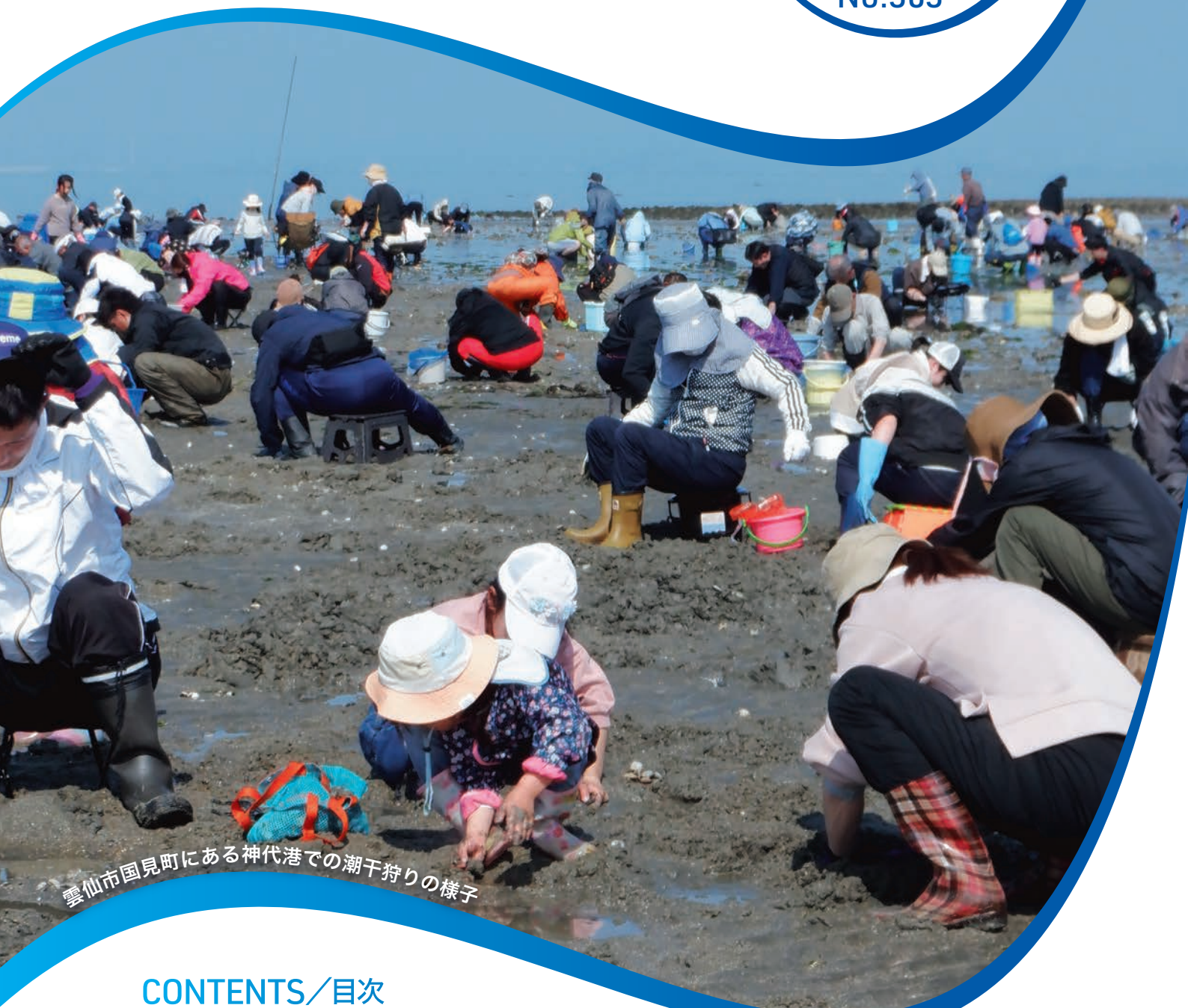


漁連だより

2026

4

No.363



雲仙市国見町にある神代港での潮干狩りの様子

CONTENTS/目次

令和8年度定期人事異動発令P1	まぐろの解体ショーをHarufesで開催!!P5
本会新入職員紹介P1	ガザミを採捕される皆様へP6
令和7年度 漁協決算税務研修会P2	「第31回全国青年・女性漁業者交流大会」P7
シェルナースタコ型の紹介とブルーオーシャン大賞受賞のご報告	...P3	令和8年度の総合水産試験場の取組についてP9
大村湾漁業協同組合 発足のお知らせP5	令和8年経済センサス-活動調査P11

令和8年度定期人事異動発令

※個人情報保護の観点から、WEB掲載版では、一部内容を省略しております。

本会新入職員紹介

今年度本会に入会した新入職員をご紹介します。

※個人情報保護の観点から、WEB掲載版では、一部内容を省略しております。

令和7年度 漁協決算税務研修会

総務指導部 指導課

さる、3月11日、長崎県漁協会館にて令和7年度 漁協決算税務研修会を開催致しました。

本研修会は、決算作業に関連する内容やこれに伴う会計上の対応における留意点等を把握すると共に、税制改正の概要や業務にかかる税務の基礎的な知識を習得し、決算及び税務対策に万全を期することを目的として開催しています。

はじめに、主催者を代表し本会高柳参事より開会の挨拶が行われたのち、今回の研修会の講師を務める税理士法人石井会計事務所石井税理士より各研修内容について講義が行われました。

研修Ⅰ…令和7年度税務申告の主要ポイント

「法人税申告書作成の手順」や「協同組合の会計の概要」などの基礎的な部分をはじめ、「貸倒引当金の損金算入に関する明細書」などの実務において判断が難しい別表の作成方法について説明がありました。また、最後に事前に寄せられていた質問に対するの回答及び解説が行われました。

研修Ⅱ…令和8年度税制改正について

「少額減価償却資産の損金算入」や「青色申告特別控除」の見直しなど、漁協に関係する税制改正の内容についての説明。また、消費税に関しては、インボイス制度の経過措置の見直しなどについて解説がありました。



講義の様子

参加者からのアンケートでは、「説明が分かりやすく、一般職員にも聞かせたい」、「資料を見返し、これからの決算に備えたい」等の回答がありました。また、今後の希望する研修内容について「合併漁協の会計・決算・出資金の整理」や「法人税・消費税の申告書作成」など様々な意見がありました。今後も参加者の希望に応えつつ、より実りある研修会となるよう努めていきます。



研修会の様子

シェルナースタコ型の紹介と ブルーオーシャン大賞受賞のご報告

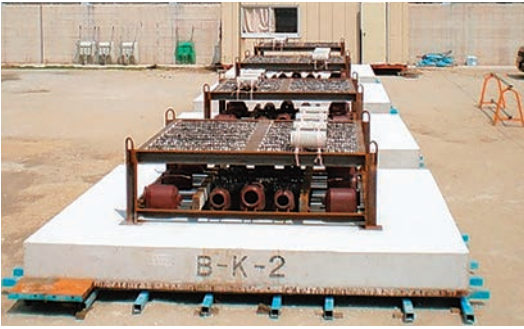
購販部 購買課

【すべてはタコ魚礁から始まった】

今では県内をはじめ全国の海で活躍している貝殻魚礁「Fシェルナー」ですが、その原点は「タコ魚礁」にあります。1980年代からタコツボの調査や改良を重ね、マダコが最も棲みやすい環境を追求して誕生しました。県内でも、佐世保市や大瀬戸町漁協で導入されており、マダコの住処として効果を発揮しています。

【タコが喜ぶ!? シェルナースタコ型の機能】

マダコ資源の維持・増大には、産卵・ふ化期の保護、着底期から未成体期の保護育成が欠かせません。「シェルナー



シェルナースタコ型



タコツボが固定

スタコ型」は、左記の3つの機能でこれを実現しています。

1. **マダコが安心して繁殖できる産卵場**
マダコが好む閉鎖的な形状のタコツボを、海底の砂泥に埋まらないよう固定して設置しています。タコツボの底には数力所の穴を開け、通水性を高めることで卵に十分な酸素を供給するとともに、浮泥や砂が内部に溜まりにくいよう工夫しています。

2. **稚ダコを守り、育てる「隠れ場と餌場」**

シェルナースタコ型に配置された貝殻基質の内部には、貝殻の重なりにより小さなすき間ができるため、稚ダコにとって絶好の隠れ場となります。また、同時にエビ類やカニ類などの小型甲殻類が増殖するため、稚ダコの成長に必要な餌生物も豊富に供給されます。

3. **長期間、持続する効果**

継続して実施している効果調査の結果、設置から27年以上経過したシェルナースタコ型でもマダコの生息、産卵、稚ダコのふ化が確認されています（下のQRコードからご確認ください）。

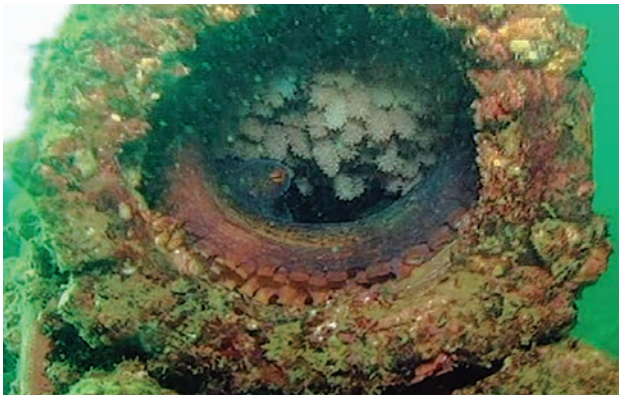


【海域に合わせた形状と長崎県内の実績】

設置海域の条件や活動方法などオーダーに合わせて、様々な形状のシェルナースタコ型が開発されています。なかでも近年注目されているのが、小型で人力による設置が可能な「貝藻くん」にタコツボを配置した「貝藻くんタコツボ付き」です。潮の流れが速く、餌が豊富な漁場をもつ大瀬戸町漁協で獲れる「えべす蛸」は身が引き締まり肉厚なのが特徴です。えべす蛸の維持回復に向け、2025年8月に貝藻くんタコツボ付きを投入しました。設置からわずか2カ月後の調査では、タコツボ内に隠れるマダコが確認されたほか、貝殻基質内には餌となる小型のエビ類も観察されており、増殖効果が発揮され始めていました。また、佐世保



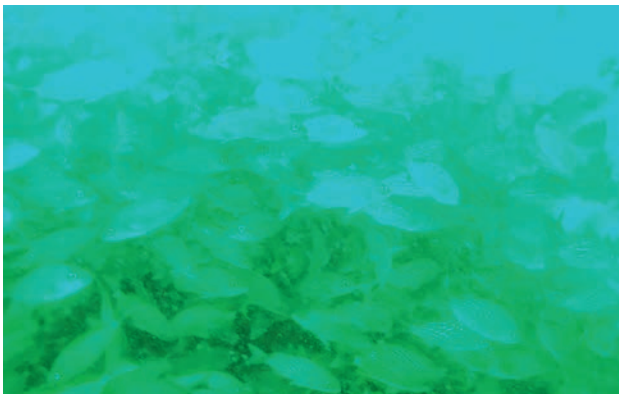
貝藻くんタコツボ付き



マダコ産卵（佐世保市）



現地漁業者による設置作業



濃密な群れ（沈設2年後）

市に設置されたシェルナースタコ型でも、産卵を含めたマダコによる利用が確認されています。

【海外での里海づくりが評価】

本会がJFブランド商品として普及推進している貝殻魚礁「JFシェルナース」。そのメーカーである海洋建設㈱の取り組み「廃棄貝殻を活用したメキシコにおける里海づくり」が、2025年度NKKKイーブルーオーシャヤン大賞（※）において、最高賞で

ある「大賞」を受賞しました。メキシコで課題となっていた廃棄貝殻を人工魚礁として活用し、廃棄物処理と海洋資源の回復、生物多様性の維持を同時に実現した点が高く評価されました。メキシコで導入されたのは、一辺75cmのサイコロ状（立方体）の小型人工魚礁「シェルナースサイコロ型」です。現地ではクレーン台船などの重機の手配が困難であったため、漁業者が人力で小型船に積み込み、海へ投入できるサイズ（空中重量約

67kg）とし、これを積み重ねること、大規模な漁場の造成を可能にしました。2026年1月までに600基以上を設置し、これまでにイサキ類やフエダイ類など41種、最大1万3000尾以上もの生息が確認され、確かな効果が実証されています。設置から2年が経過してもなお、礁が見えなくなるほど多くの魚が密集しており、高い魚礁効果が確認できました。シェルナースサイコロ型は、メ

キシコで導入されて以降、大分県や徳島県、岡山県などで採用されており、日本国内でも徐々に広がりを見せています。また、大分県では、ピラミッド状に積み重ねて沈設し、イサキの稚魚を放流する拠点として活用されました。（※）日本経済新聞社、日経BPが主催し、海洋環境の保全、水産資源の適正な活用に向けて意欲的に取り組む企業・団体・個人などを表彰するものです。

大村湾漁業協同組合 発足のお知らせ

長崎県漁協合併推進委員会

令和8年4月1日より大村湾漁業協同組合は新体制でスタートします。

時津町の浦郷地区に位置し、大村湾に面した港の一角に本所を有する大村湾漁業協同組合は、西彼町にある西彼町漁業協同組合と合併し、新体制として『大村湾漁業協同組合』がスタートします。

○新組合の概要

【名称・代表理事組合長】

(名称) 大村湾漁業協同組合

(代表理事組合長) 松田 孝成 氏

【事務所】

(本 所)

西彼杵郡時津町浦郷542番地18

(東彼杵支所)

東彼杵郡東彼杵町大音琴郷93

(多良見支所)

諫早市多良見町木床名1013番地112

(川棚支所)

東彼杵郡川棚町下組郷2095番地10

(長浦支所)

長崎市長浦町2751番地10

(西彼町支所)

西海市西彼町八木原郷2017番地3

(亀岳支所)

西海市西彼町亀浦郷727番地8



本所



西彼支所

まぐろの解体ショーをHarufesで開催!!

長崎県まぐろ養殖協議会

さる3月14日、出島メッセ長崎にてKTN主催のHarufesが開催され、そのステージイベントとしてまぐろの解体ショーを行いました。

当イベントは「みんなで遊んでハル気分♪」をコンセプトとして、子どもが楽しめるコンテンツ、子育てや医療などの生活密着情報を発信するブース等、家族で楽しめるイベントとなっております。2日間行われました。

ステージイベントでは、ヒーローショーやチャアダンスショー、著名人によるスペシャルライブに加えて、まぐろの解体ショーが実施されました。

解体ショーでは、本協議会の部長である、双日ツナファーム鷹島(株)大西氏のマ



まぐろを解体している様子

イクパフォーマンスを始め、同社の永田氏、山岡氏の巧みな包丁さばきで会場は盛り上がりました。また「ぐるっパ！」という番組の生中継で、面白いコンビますだおかの岡田さんと大西部会長との掛け合いや、解体していく様子が放映されたことで、本県産養殖くるまぐろの魅力がPRできました。なお、会場では子どもを中心とした試食やじゃんけん大会を開催し、勝った選ばれし者にまぐろの柵をプレゼントし、満面の笑みで受け取っていました。本協議会として、本県養殖



試食配布の様子



ますだおかだ 岡田さんと大西部会長との掛け合いの様子

くろまぐろの貴重なPRの場となりました。今後も県内外問わず消費者へPRを行って参ります。

ガザミを採捕される皆様へ

長崎県有明海ガザミ資源回復計画作成協議会

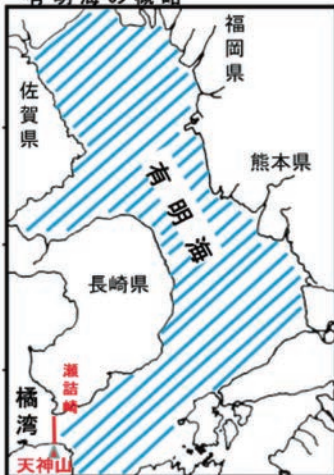
ガザミを採捕される皆様へ

ガザミの採捕禁止 (6/1~6/15)

有明海では、**6月1日~6月15日**の間、**漁業者だけでなく一般の方もガザミをたも網その他のすくい網で採捕することは禁止されています!!**

これは、日本海・九州西広域漁業調整委員会指示による規制です。

有明海の概略



※有明海とは・・・

委員会指示の対象となる「有明海」は以下の直線及び陸岸によって囲まれた海面です。

- ・長崎県瀬詰崎から熊本県天神山に至る直線
- ・熊本県梁岳から高松山三角点に至る直線
- ・熊本県天草上島恵比須鼻から大矢野岳に至る直線
- ・熊本県三角灯台から中神島を経て三角岳に至る直線

※周年、全甲幅長1.3cm以下の小型ガザミの再放流にも取り組んでいます。



福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県

水産庁九州漁業調整事務所
(問合せ先: TEL.092-273-2004)

- (1) 漁獲努力量削減
 - (2) 抱卵ガザミの再放流又は一時畜養により産卵機会を確保する。
 - (3) 全甲幅長13センチメートル以下の再放流。
 - (4) 軟甲ガザミの再放流。
 - (5) 6月1日から6月15日までのたも網その他すくい網による禁漁。
 - (6) 資源培養措置
- 関係県による積極的な種苗放流を実施する。

日本海・九州西広域漁業調整委員会指示により広域資源管理のために講じる措置としては、左記の通り取り組むこととなっております。

- (3) 漁場保全
- ガザミ成育場の環境改善、生産力回復のため、海底耕耘や覆砂等の実施
- また、各県自主規制を設け取り組んでいます。
- ガザミの資源量は1985年をピークに減少してきています。上記のような措置を実施してきたこともあり、近年では増加傾向にあると考えられています。この措置は漁業者のみならず、一般の方も対象であり、その努力が少しずつ実を結んでいるものです。これからもより資源を増やすため、本取り組みにご理解、ご協力をお願いします。

「第31回全国青年・女性漁業者交流大会」

長崎県漁協青壮年部連合会

本記事では、2・3月号にて掲載している標記交流大会において発表された、中庭氏の取組について紹介します。

●第3分科会（流通・消費拡大部門）

対馬地区漁業士会

中庭 源 氏

「中庭水産有限会社における担い手確保と島内流通の取組」

1. 地域の概要

対馬は日本海の西に位置する南北約82km、東西約18kmの細長い島で、福岡県から約132km、韓国までは約49・5kmと近接するまさに国境の島である。気象条件が良い日には対岸を望むことができ、地理的にも文化的にも独自の特徴を有している。島中央部には入り江に富む浅茅湾が広がり、海岸線は約915kmと非常に長い。面積は約696km²で全国の離島

の中でも3番目の広さを誇り、令和7年8月時点の人口は約2万6千人である。近年は豊かな自然環境を求めて韓国人観光客が増加し、令和6年には約19万人の韓国人が対馬を訪れている。

2. 漁業の概要

対馬周辺海域は天然の岩礁が点在し、対馬暖流と大陸沿岸水が交わる好漁場であるため、いか釣り漁業をはじめ、ヨコワ（クロマグロ幼魚）やブリを対象としたひき縄漁業、タイ類やアマダイ、アカムツなどを対象とするはえ縄漁業のほか、定置網漁業やあなご籠漁業など多様な漁業が展開されている。さらに浅茅湾では、クロマグロや真珠の養殖も盛んで、全国有数の生産地として知られる。対馬沿岸地区の漁業協同組合は11組合、組合員数は約3,400人、経営体数は約1,000であり、令和5年の漁業生産量は約1万トンに達するなど、水産業は地域経済を支える重要な基幹産業となっている。

3. 組織と運営

中庭水産有限会社（以下、弊社という）は平成5年に設立され、対馬市豊玉町廻地区において小型定置網漁業を営んでいる。父である中庭功社長を筆頭に、専務である私及び従業員3名で構成され、地域に根ざした操業を続けている。定置網は2ヶ統を設置しており、ヤリイカやイサキ、アジ、サバ、ブリ、ヒラマサなど年間を通じて漁獲している。

4. 課題選定の動機

対馬の水産業では漁業者の減少と高齢化が進行しており、担い手不足が深刻な課題となっている。弊社においても同様で、従来は親戚や地元住民を中心に雇用していたが、年齢構成の偏りにより若手人材の確保が急務となった。しかし、若年層の島外流出が進む中、島内だけの人材確保には限界があった。そこで、島外からのインターン受入に着眼し、インターネットを活用した

求人や人脈を生かしたりクルート活動を開始した。

さらに、対馬では水産物の多くが福岡など島外へ出荷されるうえ、島内には市場や仲買業者が少なく、地元住民が対馬産の魚を日常的に購入しにくい状況があった。この課題に対応するため、創業当初から島内スーパーへの直接販売を行い、地産地消の推進にも取り組んできた。

5. 取組と成果

(1) インターネットや人脈を活用したリーターの呼び込み

「農業ジョブ」や「Indeed」など複数の求人サイトへの掲載やYouTubeを活用した情報発信を行い、漁業の魅力や実際の作業内容を積極的に発信した。さらに、企業勤務時代の人脈を活用した勧誘も行った。その結果、平成27年以降5名のリーター者を採用し、現在の従業員は全員リーター者となった。平均年齢も大きく若返り、組織の活性化につながっている。さらに、地域行事や交流活動への参加を通じて生活面の支援も行い、定着率の向上にも取り組んでいる。

また、定置網漁業の体験機会の提供や対馬地区漁業士会の活動として、地元の学生に魚の捌き方を教える講師を務めるなど、将来の担い手育成にも力を入れている。

(2) 水産物の島内流通に関する取組

漁獲した鮮魚を直接スーパーへ配達し、島内主要6店舗のうち3店舗との取引を確立している。これにより、仲買業者としての役割も果たしており、地元スーパーで対馬産鮮魚の販売が実現している。また、島内販売は弊社の売上約2割強を占めており、経営を下支えする重要な取組にもなっている。

6. 波及効果

定置網漁業は、漁村集落の地先漁業として営まれてきた経緯から、従業員の多くが地元出身者で構成される場合が多い。リーター者を中心とした若年層の雇用と定着を実現した本事例は、これまで対馬では見られなかったものであり、今後の雇用型モデルケースとなり得る。近年では雇用型漁業を志向して移住する人も増えており、地域全体への波及効果が期待される。

また、島内流通においても、島内主要スーパーのうち、現在取引のない店舗からも鮮魚取引の打診があっており、これまで以上に対馬産水産物の地産地消に寄与できる可能性がある。

7. 今後の課題と計画

近年は漁獲量の減少傾向が見られ、経営への影響が懸念されている。このため、操業を休止している漁場の再稼働を検討しており、急激に強い底層定置網の導入と既存網との併用により、魚種ごとの特性に対応した効率的な操業を目指す。

一方で、新たな漁法への対応には技術習得や作業負担の増加が伴うため、人材育成や作業効率の改善が不可欠である。今後は機械化や省力化を進めつつ、計画的な人材育成を行い、働きやすい環境整備と技術力の向上を図る。これらの取組を通じて水揚げ量の回復と増加を実現し、持続可能な漁業経営を目指すことで、地域の活性化にもさらに貢献していく。

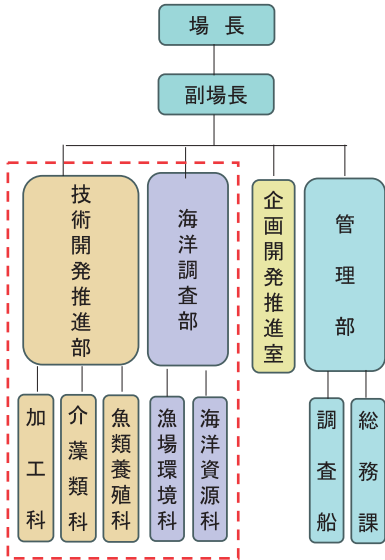
令和8年度の総合水産試験場の取組について

長崎県総合水産試験場 企画開発推進室

はじめに

皆様方には日頃から総合水産試験場が実施する各種業務に対し、ご支援・ご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

総合水産試験場では、本年度、「長崎県水産業振興基本計画」に定める目標と国の方向性の確に対応しつつ、限られた人材を優先度の高い分野へと集中させ各種調査や技術開発等を効果的かつ効率的に実施するため、「海洋環境や資源の変化への対応」と「養殖業の持続的な成長産業化」に重点化した研究組織とし、試験研究部門において、これまでの1部3センター7



科を2部5科へと組織改正を行いましたのでお知らせします。

また、これまで通り、「開かれた試験場」として、最新の設備を広く開放し、水産業界の要望に即した試験、産学官による共同研究等を積極的に行ってまいります。

それでは、本年度の主な取組を紹介いたします。

主な事業の紹介

新規事業

○長崎・魚(いお)ネクスト

温暖化と輸出に対応する新魚種の開発

予算額：7,724千円

養殖業の収益向上と経営安定化を図るため、温暖化や輸出に対応できる新しい養殖魚種の導入を目指して種苗生産技術の開発、親魚養成、次期有望種の成長試験等に取り組みます。

○育種で拓く全雄トラフグ社会実装推進事業

予算額：6,635千円

県内トラフグ養殖関係団体や種苗生産団体と連携し全雄トラフグの社会実装を進めるとともに、さらに白子が早く大きくなる全雄化技術の改良に取り組みます。

継続事業

○長崎シン水産魅力土産の創出プロジェクト研究

予算額：6,226千円

本県水産加工業において、これまであまり生産されてこなかった常温流通性、即食性の高い

水産加工品の生産を後押しするため、加熱・乾燥による新たな加工技術を開発します。

○IoT活用有害プランクトン対策事業

予算額：5,419千円

有毒・有害プランクトンに起因する養殖生物のへい死を防止・抑制するため、IoTを活用して、環境調査、有害赤潮の動態・消長・移流予測検出・防除法の検討等を行います。

○沿岸漁業育成支援事業

予算額：8,990千円

持続的な漁業生産の実現を図るため、資源評価の高度化や操業効率化の技術開発に取り組み、実用的な知見や開発技術を漁業者に提供するとともに、これらの情報を活用できる漁業者を育成します。

○真珠養殖業経営安定化対策事業

予算額：2,079千円

アコヤガイ稚貝の大量へい死を軽減するため、真珠業界等と連携して、技術開発を行います。

○環境変化に対応した貝類養殖技術の開発・向上事業

予算額：1,984千円

県内の主要な貝類養殖種(カキ類、アサリ)について、新しい養殖技術開発、新技術の応用及び現場導入により生産性の向上を図ります。

○気候変動対応の藻類増養殖技術開発

予算額：3,949千円

温暖化の影響による藻場や藻類養殖への影響を把握し、気候変動に対応した藻場造成技術の開発及び藻類養殖技術の改良・開発を行います。

○多様なニーズに対応した水産加工品創出技術支援事業

予算額：2,082千円

オープンラボを活用し、本県水産加工業者が行う試作に対する指導・助言、現地研修会での技術指導などを通し、社会経済の変動に伴い多様化する消費者ニーズに対応した水産加工品の創出を支援します。

○売れる美味・新食感水産加工技術の開発

予算額：2,344千円

長崎県で四季折々に漁獲される旬の魚や主要な養殖魚を用い、マーケットの視点にたった美味しさと見栄えを兼ね備えた冷凍刺身、及びこれまでとは異なる食感のすり身等の製造に必要な加工技術を産学の協力のもと開発します。

○沖合域における広域流動モデル技術の活用による水産分野の生産性向上

予算額：8,596千円

流動モデルによる有害赤潮の広域移流予測・検出・閲覧システムを開発し、有害赤潮の養殖場への流入を予測・検出し、迅速な対策により、赤潮漁業被害を抑制します。開発したシステムは流れ藻等の移流予測にも応用します。

○養殖業の成長産業化にかかる技術開発事業

予算額：6,020千円

養殖業の成長産業化を推進するため、国内外販売で競争力のある新魚種の養殖技術開発、生産性の向上等に繋がるスマート養殖技術開発及び収益性を悪化させる疾病に対する技術開発を行います。

この他、「有明海特産魚介類生息環境調査」、「有明海漁業振興技術開発事業」等についても水産部関係各課と連携して取り組んでいます。

水産技術研究所及び長崎大学との連携

総合水産試験場に隣接する「国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所」及び「長崎大学海洋未来イノベーション機構環東シナ環境資源研究センター」との連携強化を図り、共同研究に取り組む他、漁業者との意見交換会や広く一般に公開する「ながさき水産科学フェア」を共同開催します。

情報の発信

○研修会の開催

試験研究の取組内容について、漁業者を始めとする関係する方々の理解と関心を深めて頂くため、各地域で研究成果の紹介や意見交換を行う研修会「出前水試」を開催します。

○漁海況情報

漁業活動を支援するため、県庁ホームページにおいて「漁海況週報」、「漁海況通信」の最新情報及びバックナンバーを掲載するとともに、簡易版の海況予測情報も公開しています。また、これらの情報は市町や漁協に対して電子メール等により配信することで、漁業者の皆様の目に触れる機会を増やすよう努めています。

○技術情報

施設紹介、研究報告、情報サービス、試験研究情報等を県庁ホームページで公表しています。また、魚のさばき方等も掲載しています。
<https://www.pref.nagasaki.jp/organization/suisanbu/suisan-shiken/>

おわりに

水産業の振興や試験研究に関して、皆様からのご意見やご要望等がございましたら、総合水産試験場企画開発推進室（095-850-6294）もしくは、最寄りの水産業普及指導センターまで、ご連絡頂きますようお願いいたします。

（企画開発推進室 川原 隆浩）

令和8年経済センサス-活動調査

長崎県 県民生活環境部 統計課

▼詳しくはこちらから



総務省と経済産業省は、令和8年6月1日現在で「令和8年経済センサス活動調査」を実施します。この調査結果は、国や地方公共団体における行政施策の立案や、民間企業における経営計画の策定など、社会経済の発展を支える基礎資料として広く活用されています。

調査票は、国から郵送されるか、都道府県知事が任命した調査員がお伺いして直接配布されます。調査員は、必ず「調査員証」又は「業務委託証明書」を身に付けているほか、調査専用の「下敷き」及び「手提げ袋」を携帯していますので、安心してご回答ください。

皆様の調査へのご理解・ご回答をよろしくお願ひします。



経済センサス 活動調査

経済の国勢調査

支所等を有さない比較的小規模な事業所へは次の方法で調査書類・調査票をお届けします

- ① 4月からインターネット回答用の書類を郵送
- ② インターネット未回答等の事業所へは5月に調査員が紙の調査票を配布

※支社・支所をもつ企業や規模の大きい事業所などには、「直轄調査」という別の方法で調査を実施します



令和8年6月1日



※この調査は統計法に基づく基幹統計調査で、調査に回答する義務があります。ご回答いただいた内容は統計作成の目的以外（税の資料など）には、絶対に使用しません。

<https://www.e-census2026.go.jp/>

経済センサス2026

検索



総務省・経済産業省・都道府県・市区町村からのお知らせです。

海の安全レポート

第229号 令和8年4月号



第七管区海上保安本部
7th Regional Coast Guard Headquarters

海の安全推進本部(交通部安全対策課)

TEL 093-331-6395



ゴールテソウィーク GW期間中の海の事故に注意!

《命を守るためのPOINT》



POINT 1

発航前検査

エンジン故障やバッテリー上がりの事故が多発しています。発航前の検査(点検)を必ず実施し、バッテリー・インペラ、燃料フィルタの交換等、整備をしっかりと行いましょう。

発航前検査の詳細は、右の2次元コードから



POINT 2

常時適切な見張り

航行中はもちろん、錨泊や漂泊中、釣り等を行っている場合でも、常時周囲の見張りを行い、衝突事故を未然に防ぎましょう。衝突事故の多くは「見張り不十分」によるものです。油断することなく、意識を高く持ちましょう。



POINT 3

ライフジャケットの着用

船上、磯場など危険な場所ではもちろん、岸壁や防波堤での釣りでもライフジャケットを必ず着用しましょう。海中転落した際の生存率が大幅に向上します。

POINT 4

気象情報+連絡手段の確保

出発前はもちろんのこと、釣り場でも最新の気象情報を入手し、荒天が予測される場合には、早めに帰るようにしましょう。また、家族や友人に行先や帰宅予定時間も事前に伝えておき、万が一に備え、「防水バック入り携帯電話」を肌身離さず携行しましょう。



事故事例

令和8年3月、漁船A丸(1名乗組)は、航行中に浸水により沈没し、乗組員1名が溺水により死亡する事故が発生しました。同船の甲板に生じた破孔を修理しな~~いまま~~航行した結果、浸水して沈没した可能性があるものと考えられます。

インターネットショッピングサイト

長崎県の安全・安心で新鮮な鮮魚・加工品を
インターネットを通じてダイレクトに食卓へお届けします!!
美味しいものはここにある

長崎漁連

ウェブショッピング JF長崎漁連

<https://www.jf-nagasaki.com>

長崎自慢の海産物を
ネットでお取り寄せ!

JF 長崎県漁業協同組合連合会

漁船の衝突事故が多発しています

衝突事故に注意

他船との衝突事故が最多

漁船事故種類別割合 (令和2～令和6年) 2,246隻

衝突	25% (564隻)
無人漁漁	14% (306隻)
乗船	10% (229隻)
転覆	10% (217隻)
推進器・舵故障	8% (184隻)
火災	8% (173隻)
その他	25% (573隻)

衝突時の乗船人員

2人乗り以下が8割

衝突時の乗船人員 (令和2～令和6年) 564隻

1人	55% (311隻)
2人	22% (124隻)
その他	23% (129隻)

衝突の原因

見張り不十分が8割

衝突原因別割合 (令和2～令和6年) 564隻

見張り不十分	76% (424隻)
船舶干渉	12% (70隻)
悪天候	6% (34隻)
不可抗力	6% (34隻)

水産庁 海上保安庁

水産庁 〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 TEL: 03-3592-0731
海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3 TEL: 03-3591-6361

あっぱれ

船舶塗料の専門店

山二塗料株式会社

0956-31-8020

まごころで大きく包む

パッケージ資材全般・包装機械

株式会社 丸本

本社・営業部 / 〒851-0134 長崎市田中町593-1
☎ 095-837-8205 FAX 095-837-8208
工場・営業所 / 福岡工場・熊本工場・福岡営業所

定置網周辺の潮流・水温リアルタイム計測

株式会社ゼニライトプライ

日付	時刻	電圧 (V)	流速 (cm/sec)	水温 (℃)
2023-07-09 08:40:30	6.00	24.1	20.23	15.20
2023-07-09 08:40:30	6.00	24.1	20.49	11.92
2023-07-09 08:40:30	6.00	24.4	20.48	11.93

九州営業所 TEL: 092-674-0001 FAX: 092-674-0002

ハイビジョン シーガル201

シバタ工業株式会社

095-844-1210

FURUNO

CHALLENGE the INVISIBLE.

古野電気株式会社

095-861-3261

SEIBUNSHA

株式会社 正文社

095-826-0211

貝殻
リサイクル魚礁



JFシェルナース



魚礁
(6.0型)



イサキ(対馬市)



ヒラマサ(西海市)



メバル(佐世保市)



イセエビ(新上五島町)



マダイ(対馬市)



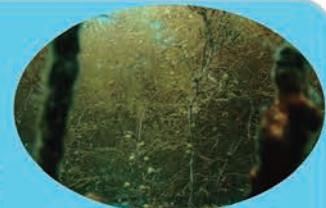
マアジ(南島原市)

保護礁
(プラス1.0型)



漁業者による
種苗の準備

取り付けた海藻は
順調に
生長しています!



設置10年以上経過
ホンダワラ類(長崎市)



2カ月後(長崎市)



1年2カ月後(対馬市)



1年5カ月後(平戸市)

漁師の考えた小型ブロック

貝藻くん



60cm×55cm×45cm、重量60kg

長崎県内で1,156基(全国約12,573基)
ご採用いただいております(2013~2024.4.1現在)



クロメ生育状況



下の隙間に隠れるクエ

お問合せ先 JF長崎漁連 購販部 購買課 TEL 095-829-2420

開発・製造 海洋建設株式会社



JF
JFグループ

着けよう、
あなたが家族のことを
思うなら。

めざせ！
海難事故

自分の命は自分で守る！
わずらわしさと窮屈さから解放！
ベスト感覚で着れる
ファッションなライフジャケット
常時着用型救命胴衣(自動膨張式)

膨張時

反射リフレクター
エア-吹入補充バルブ
ホイッスル
炭酸ガスボンベ
手動レバー

お問い合わせは、長崎県漁連 購買課まで TEL 095-829-2418~2420

「ギョレンオイル大漁」 発売から 50 年



「ギョレンオイル大漁」は、漁船で使用される機械とその使用条件を考慮して定めた規格に合わせて開発した、漁船のためのエンジンオイルです。

ギョレンオイル
大漁
シリーズ

大漁スーパー

中・小型漁船の高速エンジン用 (SAE30、40、15W-40)

大漁ロイヤル

大・中型漁船の中・低速エンジンオイル (SAE30、40)

大漁LL

大・中型漁船の長期航海用 (30、40)
小型高出力エンジン用のロングライフオイル (15W-40)

大漁ハイドロスーパー

耐荷重性に優れた漁船用油圧作動油 (ISO VG32、46)

大漁ベストクール

陸上冷凍装置から遠洋漁業の超低温冷凍装置まで
(ISO VG32、46)

漁協は、JFグループへ。

JFブランド商品

“ギョレンオイル大漁シリーズ”

漁船用エンジンのための最高級オイル。

〈エンジンオイル〉

- 大漁スーパー
- 大漁ロイヤル
- 大漁LL

〈油圧作動オイル〉

- 大漁ハイドロスーパー

〈冷凍機オイル〉

- 大漁ベストクール



海には、JFマークの商品を。



JFグループ

問い合わせ先
問い合わせ先

JF全漁連 購買事業部 石油第2課
JF長崎漁連 購買課

TEL 03-6222-1323
TEL 095-829-2419



発行/長崎県漁業協同組合連合会
〒850-8686 長崎市五島町2番27号 TEL095-829-2413
年間購読料 2,000円 (会員の購読料は会費に含む)

長崎県漁連 WEBサイトアドレス
<http://www.nsgyoren.jf-net.ne.jp/>

